



### 第1回 「補聴器・人工内耳・FM補聴システムについて」

7月6日(水)、第1回きこえとことばの基本研修会が行われ、石垣太郎教諭による「補聴器のしくみ」や「人工内耳・FM補聴システムについて」の講話がありました。



#### 補聴器は・・・

★補聴器は、音を大きくして耳に届ける器械  
→補聴器で音を大きくすれば聞こえるようになる？

- ・増幅できる音に限界があり、ささやき声、小さな声は聞こえない。
- ・音が歪んで聞こえる感音性難聴の場合は、歪んだ音が大きくなる。音として聞こえても、言葉の意味が分かりにくい。



きこえた音を言葉として理解するための支援と学習が必要



- うるさい場所では、聞きにくい。
- 同時に複数の人から話されると聞きにくい(グループでの話し合いが苦手)

#### 人工内耳は・・・

★体外器から受け取った音を電気信号に変え、内耳に挿入した電極から直接聴神経に伝える。

- ・2~3万ある聴神経に、20数個の電極を割り当てていくので、通常聞いている音とはちがって聞こえる。どのように聞こえるかは本人にしかわからない。



FM補聴システムの体験をしました。

#### FM補聴システムを活用すると

- ・雑音を軽減し、聞かせたい声に集中させることができる。
- ・離れていても、クリアに聞こえる。

実際に、

修学旅行の際、新幹線の音がうるさい中でも教師の声を聞きとることができた。

運動会の練習で、離れた場所にいた生徒にも、教師の声が聞こえ、指示を理解できた。



#### <参加者の感想>

- 口話等の音に反応が良く、一見聞こえの状態が良いと思われがちな子どもに対しても、内容を正しく理解できているかどうかを確認するなど配慮が必要だと感じた。
- 人工内耳のお子さん増えており、人工内耳の聞こえについて詳しく知ることができてよかった。